



情報共有で 安全な道路走行を 国土交通省北海道開発局と 北海道コカ・コーラボトリング(株)の 協定締結



国土交通省北海道開発局建設部道路維持課

はじめに

近年、自然災害が頻発し、災害リスクの増大が懸念されていますが、道路の安全・安心の確保には、災害が発生した場合においても国民生活や経済社会活動に深刻な影響を生じさせないように、施設整備等のハード対策と併せ、防災情報の高度化や、防災関係機関、道路利用者との災害情報の共有等、被害の軽減を図るソフト対策を一体的に進めることが重要です。

国土交通省北海道開発局では、道路防災のソフト対策として、道路情報板、iFAX（道路情報FAX）、ラジオ放送、路側放送、「道の駅」情報端末といった施設・仕組み等、道路利用者が簡単に情報を入手できるように、多様な手段で道路情報を提供していますが、情報端末等の整備には、設備開発や設置費用、設置場所、維持管理費などの課題もあります。

ここでは、北海道コカ・コーラボトリング(株)が保有する「電光掲示板付き災害対応型自動販売機（以下、地域貢献型自動販売機）」の情報提供機能や、集配車の情報収集・広告的機能と北海道開発局の連携・協働の取組の概要について紹介します。

地域貢献型自動販売機での防災情報提供

平成19年9月、北海道開発局と北海道コカ・コーラボトリング(株)は、道路と地域の安全や地域振興支援などを目的とした、包括協定（協働事業を行うにあたっての理念）を締結しました。この最初の取組は、小樽開発建設部、市町村及び北海道コカ・コーラボトリング(株)との3者協定（協働事業の個別具体的な取組内容）による、地域貢献型自動販売機を活用した道路情報提供「おしらせ道ねっと」です。

地域貢献型自動販売機とは、専用WEBサイトに入力された文字情報が、自動販売機に内蔵された電光掲示板（LED表示部）に掲載される仕組みを持った自動販売機です。



この自動販売機の機能を利用し、①災害時における、「災害の状況」等のきめ細やかな災害情報の提供、②平常時における通行止め等の「道路情報・気象情報」やイベント等の「地域情報」、「時事ニュース」等の情報提供について試行を開始しました。

この試行では、小樽開発建設部管内の16カ所の「道の駅」と「しりべしiセンター」等に地域貢献型自動販売機を設置し、様々なメッセージを発信しています。

【例1：古平～神恵内への当丸峠、通行止めとなっております】

【例2：高速いわない号小樽行き 道の駅向かいのバスターミナル
〇〇時〇〇分出発です】

地域活性化のための地域情報を提供したい地域側と、道路災害情報等を迅速に提供したい道路管理者、そして、提供する情報源を探していた企業が、お互い出来ることを持ち寄って始めた「おしらせ道ねっと」でしたが、多くの地域でも受け入れられることになり、現在は全道の約120カ所で運用されています（平成27年9月30日時点）。

道路緊急ダイヤルの啓発活動

「おしらせ道ねっと」をきっかけに北海道開発局と北海道コカ・コーラボトリング(株)の連携・協働がますます深化し、「道路異常の情報共有及び道路緊急ダイヤルの啓発活動」について、北海道コカ・コーラボトリング(株)と新たな細目協定を結びました。道内の国道を広く利用している、北海道コカ・コーラボトリング(株)のトラックや営業車両に、道路緊急ダイヤル(#9910)の啓発用ステッカーを掲載するとともに、道路の異常を発見した場合に道路管理者へ情報提供をお願いします。帯広開発建設部を皮切りに、今では全道すべての開発建設部で協定を締結しています。



道路緊急ダイヤル（#9910）は、平成17年12月に国土交通省の取組として全国運用が開始され、道路利用者が国道等で、道路の異常（道路の穴ぼこ、路肩の崩壊などの道路損傷、落下物や路面の汚れなど）を発見したさいに、直接、道路管理者へ緊急通報できるようにしたものです。携帯電話の普及で緊急通報が容易になったことや、標識柱への電話番号掲載による周知の取組により、年間で約6,500件（H26年度）もの緊急通報をもらえるようになってきました。

現在、道路緊急ダイヤルは、道路の異常へ迅速に対応し、道路利用者の安全を確保する上で欠かせない情報ツールとなっています。広告塔的な存在感のあるコカ・コーラの車両に掲載することにより、更に多くの道路情報が収集できることを期待しています。

おわりに

民間企業との連携協働は、今後も北海道の安全・安心な道路走行実現のために重要であると思います。

昨今、様々な企業が社会的責任（CSR）の取組を模索している状況の中、この先駆的な取組を将来に渡り継続し、時代に合った新たな展開方策を今後も続けていきたいと考えています。

